



株式会社ファミリーマート  
<http://www.family.co.jp>

ファミマ ありがとう

検索



# ファミリーマート ありがとうの10<sup>th</sup> 手紙<sup>でがみ</sup>コンテスト



こどもたちの  
未来のために...



ご報告にあたって

この度は、『ファミリーマート  
 ありがとうの手紙コンテスト2018』に  
 作品応募をいただき、誠にありがとうございました。  
 本コンテストは、未来を担うこともたちの豊かな心を育て、  
 感謝の気持ちを大切に、「ありがとう」という言葉を  
 素直に言える人へと成長していただくことを目的に  
 2009年より実施しております。

10回目を数える今回は、全国から34102通のご応募を  
 いただきました。こどもたちが生活の中で感じたたくさん  
 『ありがとう』を表現した作品の数々を拝見しますと、普段は  
 なかなか伝えられない感謝の気持ちを手紙というかたちで、  
 考え、伝えるきっかけとして、この取り組みがお役に立てたことを  
 大変うれしく思っております。

本作品集は『最優秀作品賞』に選ばれた21作品の  
 ご紹介を中心に構成しております。こころあたたまる  
 手紙のひとつひとつをお読みいただければ幸いです。

次年度、本コンテストは10回目を迎えることとなります。  
 長年に渡り、授業の一環として、あるいは夏休みの宿題として  
 ご活用いただいたことを先生方、保護者の皆さまをはじめ  
 関係各位に深く感謝いたしますとともに、この活動の  
 社会的意義が年を重ねるごとに高まっていること  
 身の引き締まる思いです。

『ありがとう』という言葉は、感謝を伝えるだけでなく、  
 伝えられた人を幸せな気持ちにしてくれます。  
 本コンテストを通じて、このすばらしい言葉がそれぞれの  
 地域でたくさん行き交うことを切に願い、  
 今後も主催してまいりたいと存じます。  
 次回もたくさんのご応募を心よりお待ちしております。

平成31年 1月吉日

株式会社ファミリーマート  
 代表取締役社長 澤田 貴司



主催：株式会社ファミリーマート  
 後援：全国連合小学校長会／全国市町村教育委員会連合会／全国小学校国語教育研究会／  
 全国小学校道徳教育研究会／全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会／  
 生活科教育研究会／一般社団法人 日本家庭生活研究協会／株式会社 教育新聞社

contents

ファミリーマート ありがとうの手紙コンテスト2018

今年度10回目となる本コンテストは、夏休みの前に全国19,892校・640万児童に向けてご案内し、結果6月1日  
 から10月1日の約4か月の間で、応募総数 39,487通にも上るこころあたたまる作品をいただきました。  
 甲乙つけがたい力作ぞろいの中から選ばれた、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞全21作品、審査員  
 特別賞全35作品、学校・団体賞全7校・団体をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートの  
 ホームページでもご紹介させていただいております。(http://www.family.co.jp/arigatou2018)

- 最優秀作品賞受賞作品紹介…………… 4
- 審査員特別賞受賞作品紹介…………… 25
- 学校・団体賞受賞校・団体紹介…………… 32

こども支援活動

ファミリーマートの社会貢献テーマである  
 「こども支援」について、代表的な活動事例を  
 ご紹介します。これらの次世代を育成する  
 さまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、  
 より良い将来を応援していきます。

- その他の活動…………… 33

実施概要

応募期間	平成30年6月1日(金)～10月1日(月)	応募資格	小学校1年生～6年生
審査	一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定		
最優秀作品賞	低学年部門(1・2年生) 各ブロック1名 合計7名 中学年部門(3・4年生) 各ブロック1名 合計7名 高学年部門(5・6年生) 各ブロック1名 合計7名	※全国を7ブロックに分割し、 審査を実施	
審査員特別賞	各ブロック5名 合計35名	学校・団体賞	各ブロック1校・団体 合計7校・団体
最終審査会	平成30年11月29日(木)	応募総数	39,487通





# 審査員講評

## 審査員長



ジャーナリスト  
**池上 彰**

記念すべき第10回を迎えた「ありがとうの手紙コンテスト」。回を重ねるごとに「こういう表現があったのか」「こういう『ありがとう』の対象があったのか」と新たな発見があります。初期のころは家族にあてたほほえましい作品が多かったと思いますが、命の大切さをテーマにする作品も増え、特に今年は心からの感動を感じる作品が多数ありました。作品のレベルも上がり、審査にあたっては作品を読ませていただくうれしさと、その中から受賞作を選ばなくてはならない苦しさを同時に感じました。近年、自分の気持ちを文字に綴って伝える機会は本当に少なくなりました。そうした中で、たくさんの子どもたちがこれほど多彩な表現をしてみせたのは素晴らしいことです。このコンテストが子どもたちにとって自由で闊達な表現の場としてますます盛んになることを期待するとともに、これからもたくさんの素晴らしい作品に出合えることを楽しみにしています。

## 審査員



児童文学作家  
**こやま 峰子**

「ありがとうの手紙コンテスト」も10回目となりますが、「ありがとう」を伝えたい対象の広がりや「ありがとう」の気持ちの深さが年々増しているように感じます。特に今回は、ずっと使っていた自転車やブランケット、自分の手で育てたオクラなどへの感謝の手紙もあり、読んでいてとても楽しくなりました。同時に、家族のことを深く思う子どもたちの手紙に触れ、大きな感動を覚えました。子どもたちの「ありがとう」を伝える範囲がさらに広く、そして「ありがとう」の思いがより深くなっていくことを心から願っています。

## 審査員



日本ペンクラブ常務理事  
日本国際図書評議会 副会長  
**野上 暁**

「ありがとうの手紙コンテスト」の審査員を10年にわたって務めさせていただいていますが、回を重ねるごとに子どもたちの表現力が豊かになり、「ありがとう」の内容も具体的になってきて、全体的にレベルが上がっていると感じます。特に今回のコンテストでは、心の機微がきめ細かく描かれていたり、ディテールが丹念に描写されていたり、あるいは手紙を開くと感謝状やアゲハ蝶のイラストが飛び出すポップアップがあったりと、子どもたちの工夫を凝らした表現に驚きと感動を覚えました。これからの「ありがとうの手紙コンテスト」ではどんな作品が登場するのだろうかといまから楽しみです。

## 審査員



株式会社 小峰書店  
代表取締役社長  
**小峰 広一郎**

今回はじめて審査をさせていただきましたが、すべての作品から、子どもたちが純粋な気持ちを持って精一杯生き、成長しているということを感じ取ることができました。特別な出来事から多くのことを学ぶ、ということはもちろんありますが、日常生活の中で接している人や動物、物などについてもよく観察し、自分なりにしっかりと考えていることが分かります。そして、「ありがとう」と感謝の言葉で表すことで更なる気づきを得て、思いやりのある心を育てることに、感動を覚えました。このコンテストを通じて、「ありがとう」からはじまる幸せの輪がどんどん広がっていくことを願っています。

## 審査員



株式会社ファミリーマート  
執行役員  
**坂崎 佳樹**

2009年からスタートした「ありがとうの手紙コンテスト」は今年第10回を迎えました。前回に比べ約5,000通多い39,487通もの応募をいただくことができ、関係者一同心より感謝申し上げます。私は今回はじめて審査員という立場で参加させていただきましたが、すべての作品から子どもたちの純粋でやさしい気持ちが伝わってきて深い感動を覚えました。これからも子どもたちが周りの人たちや社会、自然、物などに対して感謝の気持ちを持ち、ありがとうを素直に表現できる場となれるよう、このコンテストを続けていきたいと考えております。



わたしのおうちさんへ  
おうちさん、いつもわたしのだいすきなかぞくをすませ  
てくれてありがとうのおうちさんのおかげでわたし  
とかぞくがよくなるんだよ。まいにちおうちでごはん  
もたべれるんだよ。  
おうちさん、いつもちかしくしゃってごめんね。わたし  
のおもちいっばいおいてくれてありがとう。これか  
らはちゃんとかたづけるからね。  
おうちさん、あめとゆきとじしんとかぜからましてく  
れてありがとう。このまえ、テレビでいっばいあめが  
ふっていらんな。おうちがこわれてるのをみた  
よ。いっばいひとがなくなっちゃって行ってすご  
くこわかった。わたしのおうちさんがなくなったらどう  
しようとおもったよ。わたしがママのおなかにいる  
ときもおうちのちかくでのおおきいしんがあったよ。  
ママがいてたけどおうちさんがこわれなくて  
よかったよ。わたしがからこうおわったらたたいま  
ってかえってこれるもん。  
おうちさん、ふるくてポロポロだからあたらしいお  
うちがいいって言ってごめんね。ママといっしょにわた  
しもおそうじかんばるね！  
おうちさん、いつもありがとう。これからもわたしとマ  
マとパパとそらちゃんのことをまもってね！  
おうちさん、だいすきだよ。  
はぎわらゆうなより

はぎわら ゆうな  
**萩原 優奈さん(1年)**  
須賀川市立仁井田小学校

**最優秀作品賞**  
低学年の部

審査員から

家族を温かく守ってくれる“おうち”への感謝の気持ちが手に取るように伝わる。庭に花々が咲く“おうち”をモチーフにした手紙も愛らしい。



お兄ちゃんへ  
 たくさんけんかもするけど、お兄ちゃんがいてくれて、  
 ありがとう。  
 ふたごんはなかなかありがとうって言えないから、手紙に書いて  
 みたよ。  
 ほくが考えるお兄ちゃんのいいところベスト3

1 やさしいところ いっぱいいいしょに 遊んでくれたり、い ろいろなものを先に かしてくれたり、して くれるところがやさ しい。	2 がまんつよいところ お兄ちゃんは、生まれつきのしんぞう病だよ。ね。 そのために、病院などでいたい注しゃな心を したり、入院して大がかりなけんさをしたり しているのを見て、えらいなと思ったよ。 ほくだったらこわくてにげたがすかもしれ ないな。
--	--

3 おもしろいところ  
 お兄ちゃんがわらわせてくれるとえがおになるよ。

ほくは、お父さんやお母さんから「おまえは、お兄ちゃん  
 にあいたくて生まれてきたんだね」と言われるけど、  
 自分でもほんとうにそうだと思う。  
 そんなお兄ちゃんへ。  
 ほくが大きくなったらお兄ちゃんの病気にきく、薬を発  
 明するからね。  
 これからもよろしく  
 よしてるより



**最優秀作品賞**  
 中学年の部

あきもと よしてる  
**秋元 義輝さん(4年)**  
 仙台市立広瀬小学校

✿ 審査員から  
 病気の兄への愛情、家族の絆の強さが文章から伝わってくる。父母の  
 「おまえはお兄ちゃんにあいたくて生まれてきたんだね」という言葉が胸をうつ。

ぼくの心臓へ

ぼくの心臓くん君は他の人と違う特ちょうを持っているよね。  
 それは生まれつき心臓の病気を持っているということ。  
 その病気のために君はぼくと一緒にがんばってきたよね。  
 だけど運動制限があるためにはげしい運動は禁止されている  
 んだ。そのためプールが好きなのは、辛いやつを思いきり泳  
 ぎたいけれどがまんしなくてはならぬという時ぼくは、  
 残念に思う。君もそう思うよね？  
 だけど悪いことはかりではないとぼくは思っているんだよ。  
 それは友達への優しさをいばい感じてきたこと。  
 例えばぼくが脱水症状になった時「大丈夫？と友達が心配して  
 声をかけてくれたり、病気のぼくを理解してキックベースにさせて  
 くれたり、ぼくのベースに合わせたりしてくれたりする。その  
 優しさにつれてうれしい思いました。ありがとうと思ってるんだ。  
 そして君にも感謝しているんだ。  
 そんな君に感謝状を送ろうと思う。

—— 感謝状 ——

生まれてから十年間病気をかかえながらもがんばって働い  
 てくれてありがとう。  
 一緒に病気を聞いてくれてる君がありがとう。  
 病気が悪化しないでしてくれてありがとう。  
 検査も成功できるような状態になってくれてありがとう。  
 ほくが毎日元気で過ごせるのも君のおかげだよ。  
 ぼくの心臓君いつもありがとう。  
 これからも病気を上手につきまといながら毎日  
 楽しく過ごしていこう。  
 君はぼくのベストパートナーだ。

拓輝より

あきもと ひろてる  
**秋元 拓輝さん(6年)**  
 仙台市立広瀬小学校

✿ 審査員から  
 心臓の病気を抱えながら、前向きに力強く生きていこうという決意が丁寧に  
 綴られている。自分を支えてくれる周りの人たちへの感謝の気持ちが心に響く。

**最優秀作品賞**  
 高学年の部



つじせんせいへ

いつもとってもありがとう  
ございます。

わたしは、じしからつじとつじの間に  
あってから、そとにでるのも、くるまにのるのも、  
こわくなってしまいました。ふんあんでこころが  
いっぱいでした。ちやうのため、つじせんせい  
どきどきしながら、ほねのちがいが  
あたりでんをからだにながしてたりは、  
ますますわたしは、こわくなりました。でも、  
せんせいは、えがおでとてもやさしうで  
す。しあわせになりました。

つじのひ、わたしは、せんせいにてがみを  
書いてみました。すると、せんせいは、  
だいすきなパンダのしるを  
くれました。

わたしはうれしくなって、つじのひ  
もてがみをかきました。すると、  
こんどは、せんせいのたからものの  
しるぐらをくれました。しるぐらは、さらさら  
してとてもきれいでした。わたしは、  
うみにいきたくなくなりました。えんさしたりこころ  
のおおこかには、にほんいちひくいやま(てん  
ぼうごん)があることもおしえてくれました。  
いつも、おもしろいおはなしをしてくれるので  
せんせいにあうのがたのしおになりました。

はやくかえさになりたいけれど、なあったら、  
せんせいにあえなくなってしるぐらので、とても  
さみしいです。うけつけて、やさしいおくさん  
にもであえて、うれしかったです。

じこには、あいたくなけれど、  
おもしろいせんせいとやさしいおくさん  
であえて、ほんとうによかったです。

わたしが1年生になって、  
せつこついにいなくなっても、  
つじせんせいとおくさんのことは、  
ぜったいにわすれません。だから、わたしの  
こともわすれないでください。ふたりとも、  
だいすきです。すうとげんきでいてください。

いつも、ほんとにありがとうございます。

よこはましりつ いまにしうがこう

ねんくみ 11ばん  
なかだ つむぎ



保坂千春先生へ

保坂先生お元気ですか  
先生がつげん七くな、たと聞いてとてもさみしくて  
今でも泣きそうになります。ぼくは先生が大好きだ、たのび  
生きるとほしかったです。

先生が秋田出身という事を聞いてはくのじいちゃんたちが  
秋田に住んでいるし、ぼく自身も秋田でくらすた事わあ、たが  
仲間になつた様な気持ちになりうれしかったです。

先生は、いそが中、かかいて笑おせしてくれましたね。またそち中、  
遊んでいたぼくをおつてくれたり、ぼくの作文をほめてくれましたね。  
おつたりほめたり、いつもちゃんとぼくの事を見てくれて  
いるんだと思えました。それからぼくは先生の事をおかげで  
作文が好きになりました。

でも、先生はあかどうの手紙を書きつうと思つてもうまく  
書けず、人にかきみしく、つらくて何を書いたらいいかわりません。  
でも、前編(前編)は、作文の思、気持ちを伝えるのが上手だねと  
ニコニコしてくれましたよ。

だからぼくは作文で自分の気持ちを表現しつうけて、  
コメントとかにちやうせんしていきたく思います。

たのび先生天国です。と見て、これからは、ぼくも、ちやうせんといつて、  
ぼくの先生になってくれてありがとうございます。さうございました。  
いつまでも大好きです。

えいり さだより

なかだ つむぎ  
中田 紬貴さん(1年)  
横浜市立今井小学校

最優秀作品賞  
低学年の部

✿ 審査員から  
心優しい接骨院の先生夫妻との交流を通して、事故によるケガからの回復は  
もちろん、傷ついた心も少しずつ元気になっていく様子が丹念に描かれている。

えいり さだ  
江尻 桜空さん(3年)  
川崎市立古川小学校

最優秀作品賞  
中学年の部

✿ 審査員から  
大好きな先生が亡くなった寂さが痛いほど伝わる。同時に、先生がこれまで  
自分たちにしてくれたことを糧に成長していこうとする姿に感銘を受ける。



# ぼくのおしありがとう!!

あかちゃんの時、とてもちいさかったぼくのおし  
 すごくおおきくなってきてどうもありがとう。  
 あかちゃんの時とは、ちっともあるけなかったのに  
 すごしづつあるけるようになってきてどうも  
 ありがとう。

いまではじてんしゅうのペダルをぐんぐん

こいでとおくまで  
 いまのぼく いくとができる  
 19センチ てとおしを  
 じょうずに  
 つかって、たかい木に  
 だつてのぼれる。  
 たかい木の上からな  
 がめるけしきはともきれ  
 だよ。  
 いっもぼくにいろいろな  
 ことをさせて  
 くれてどうも  
 あかちゃんのおかげ。  
 こゝろ 8センチこれからも  
 どうぞよろしくね。  
 いっしょにたのしく  
 おおき ならうね。  
 あべ たけぞうより

ひいおじいさんとたくさん  
 の先祖様へ、この世界をありがとう。  
 佑紀は6年生になり学校で歴史の勉強  
 をして、甲斐弥時さんや源頼朝さんや  
 織田信長さんを知りました。かへ番警  
 いたのは日本についてこの前まで戦争  
 があつたことです。テレビで外国のテロを  
 見て恐ろしいと思つて、いまはたがひい  
 おじいさんが戦争で死んでしまったと  
 聞き、戦争が終つたら家族で力を合わ  
 せて新しい世界を作つてほしいと書いて  
 あつたそう。その手紙をばけみはかん  
 ばつてくれたそうです。私が毎日学校に  
 行つたり世界のことを勉強できるのは  
 ひいおじいさんのおかげとたくさん  
 世界にはまだたくさん戦争があり  
 ます。先祖さまががんばつてくれたよ  
 うに、争いをやめようようにみんな  
 がんばるべきだと思つています。  
 たくさんの子供達が平和に暮らせる  
 ようにする方法をかんばつて考えろ  
 うになりたいと田んぼ

あかはね ゆうき  
**赤羽 佑紀さん(6年)**  
 千代田区立昌平小学校

## 最優秀作品賞

高学年の部

✿ 審査員から

戦死した曾祖父が平和な社会を願っていたことを知り、自分もたくさんの子どもたちが平和に暮らせる方法をがんばって考えたいという決意がたのしい。

あべ たけぞう  
**安倍 武蔵さん(1年)**  
 桜川市立岩瀬小学校

## 最優秀作品賞

低学年の部

✿ 審査員から

当たり前に使っている足に対する感謝という視点がユニーク。歯切れがよく、力強い文章もよい。足の成長がひと目で分かるイラストのアイデアが面白い。









おばあちゃんいつもあそんでくれて  
 ありがとう♡このまえトンボをあみで  
 つかまえようとしたらおばあちゃんの  
 からだにトンボが2ひきとまったね。  
 ブローチみたいでかわいかったよ。  
 またおばあちゃんといっしょにトンボを  
 100匹きつかまえたいな。ずっとずっと  
 いっしょにあそぼうね♡ ゆずより

おざき  
**尾崎 ゆずさん(1年)**  
 蒲郡市立塩津小学校

**最優秀作品賞**  
 低学年の部

✿ 審査員から  
 祖母との楽しいひと時が生き生きと描かれている。祖母の体にとまった  
 2匹のトンボが「ブローチみたいでかわいかったよ」という表現がみずみずしい。

カイコのクーちゃんへ

クーちゃんをはじめて見た時は小さくて体がフニャフニャ  
 していて、ちゃんと大きくなるのかな、と心配に  
 なりました。でもおじいちゃんがとってきてくれたクワの葉  
 を入れてあげるとムシムシヤとずいぶん大きくなって  
 食べはじめ、ゴックリしました。何日かして、クワの葉を  
 食べなくなって、ぐあいがあるのかな、と思ってみたら、  
 体をモンモンと始め、たっぴをしました。  
 クーちゃん、ほかにたっぴのしゃんかんを見せてくれてありがとう。  
 たっぴした後、ひたすらクワの葉を食べていて



しずかな夜にノリノリといい音をきかせて  
 くれて、ありがとう。しほくとすると、口から  
 糸をいっしょけんめいはいして、きれいな  
 マユになりました。そして、マユから  
 シルクシャの羽のかのクーちゃんが出て  
 きたのを見て、ほくはものすごくかんとうしま  
 した。キレイなかになったクーちゃんは、何も  
 食べずにじっとしていましたか、15日たっ  
 してしまっ、とてもかなしくて、さみしがたす。  
 クーちゃん、いのちの大切さを教えてくれて、  
 ほんとうにありがとう。

いい室 たけと

いいむろ たけと  
**飯室 岳叶さん(3年)**  
 駿台甲府小学校

**最優秀作品賞**  
 中学年の部

✿ 審査員から  
 カイコの一生をじつに丁寧に追っている。命の大切さを教えてくれたカイコへの  
 感謝の気持ちがしっかりした文章と緻密なイラストでよく伝わってくる。



7才になったそくくんへ



そくくん、お姉ちゃんは4年前「おにこころをいっしょにやりたいな」といっしょにおしゃべりした。って手紙に書いたんだ。今ではおにこころも少しはかな。おしゃべりも出来るようになった。時には、1人かもあるね。た「けど」そくくんと遊んで楽しいよ。いっしょに遊ぶと笑顔がかわいくて、お姉ちゃんもうれしくなるよ。いろいろなことが少なくなると出来るようになったのは、リハビリや言語を頑張っていたからだね。障害のあるそくくんは、お姉ちゃんか思っている以上に大変なんだね。これまでたくさんの人の助けがあつて出来る事や楽しめる事が増えたね。きっとそんな時、そくくんはかわいく「ありがとう」と言えたんだ。お姉ちゃんもそんなそくくんを見たら自分が頑張ったことでもいろいろお姉さんに助けられている、という事に気付いたよ。そんな時、笑顔で「ありがとう」と言いたいの。そくくんに教わったね。「ありがとう」。今、字を書く練習をしている、そくくん。自分の名前の「お」と「そ」と「く」が書けるようになった。もっと、いっぱい書けるようになったら、いつかお返事を書けるようになるよ。



おおば かえ 大場 香依さん(6年) 浜松市立雄踏小学校

最優秀作品賞 高学年の部

審査員から 「ありがとう」という言葉をキーワードとしながら、障害のある弟に対する愛情がしなやかに描かれている。姉弟の強く温かい絆がほほえましい。



きんじょのおばちゃんへ

学校の帰り道、たくさんの雨がふったとき、あまやどりを見せてくれてありがとう。  
「だいじょうぶ?こんな雨いやだよ」と言って休ませてくれてありがとう。あつしのじかんだったけど、あたたかくしてくれたり、ねこの「きーちゃんとおしゃべりさせて楽しかったよ。だけど、たすけてくれたのに名前をきかれてごめんね。おはようはお名前をおぼえて」って言って大雨で一人をみかたけど、おばちゃんとおしゃべりして楽しかったよ。これからも、あつたときは、元気にあいさつするね。



ほんとうにありがとう。

くわはら 桑原 ひよりさん(2年) 大阪狭山市立東小学校

最優秀作品賞 低学年の部

審査員から 雨宿りさせてくれた近所のおばさんとのひと時が、かわいらしい表現で綴られている。「これからも、あつたときは、元気にあいさつするね」の結びがさわやか。



### パワフル おばあちゃんへ

「大好き♡大好き♡」って言いながら私をぎゅーっとしめてくれるおばあちゃんはお母さんのお母さんです。

おばあちゃんは、いつもオシャレさんで、きれいな色のお洋服やアクセサリーを身につけていて、おしゃべりが大好きで、一日中わらっています。それから、ゆくりとくつろいでいるすがたは、私の家に遊びに来ている時と、ねむっている時だけかも？ とにかくずっとおしゃべりしながらクルクルと家事をしています。私が遊びに行くと、広いげん 閉なのに、通れなくなくな。ちゅうほどの果物や野菜をどっさり用意してくれています。いつもありがとう♡

二年前にとっぜんのうこうそくてたおれたおじいちゃんの動かなくなった左手をにぎりながら、ICUで泣いてばかりの私に「大じゅうぶ、大じゅうぶ！おじいちゃんはお気に負けたりしないから。あとはお医者さんにおまかせしよう。さあ！明日からは毎日おじいちゃんがおましからないように、病院へ通わなく。ちゅん！そう言いながらハッスルポーズをしたあと私をムギゅーっとしめてくれてありがとう♡ 本当は、おばあちゃんも、ふ、安だたんたろうけれど、自分をはげます意味もこめて私をゆう気づけてくれたんだと今は分かるよ。

あの日から本当におばあちゃんはおじいちゃんの前で自転車で毎日通っていて、おまけにスポーツジムにまでよって帰るす。ごくパワフルなおばあちゃんか大々大好きです。もうすぐおじいちゃんか帰って来るからにぎやかになるね。

心と体の両方が元気である大切さを教えてくれてありがとう。 末唯より



もりかわ まゆ  
森川 末唯さん(4年)  
大阪市立南田辺小学校

最優秀作品賞  
中学年の部

✿ 審査員から 家族や周りの人々を元気にする祖母の明るさ、たくましさがよく伝わる。祖母が抱きしめてくれる様子をそのまま手紙の形状にしたアイデアもすばらしい。

### 競技かるたへ

私が競技かるたに出会ったのは、一年生のとき。お姉ちゃんと一緒に地元のかるた教室に行ったことがきっかけだ。

二年生のとき、低学年の部で三位になり、本格的に取り組むようになった。

でもそれからは練習でも大会でも負け続きで、なかなか勝つことはできなかった。大差での負けが続いて、帰りの車の中で大泣きしたこともあった。

家で暗記や素振りの練習をしたり、構えの修正をしたりしながら、毎週、かるた会に通った。

いったい、何回練習試合をしたんだろう？ だんだん一回戦を突破できるようになり、五年生のときに、大会で準優勝して初段になった。自分が一番びっくりしたけれど、本当にうれしかった。

競技かるたのおかげで、私はすごく成長できたと思う。引込み言葉やお姉ちゃんがいれば何もできなかったけれど、今では一人で練習に参加できるようになった。

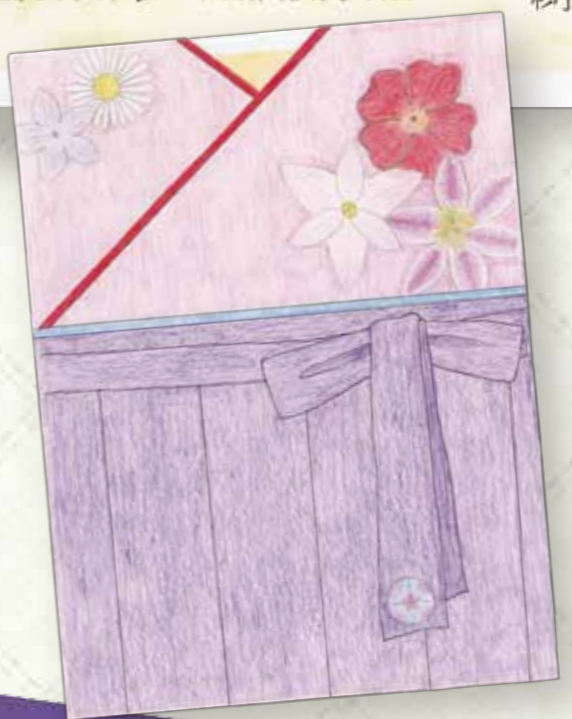
大差で負けていても、最後の一枚まであきらめずにかんばることができるようになった。

一番うれしいのは、友達が増えたこと！ 学校がら、でも、学年がら、でも、皆、かるたをしている仲間。今年の夏は、高校選手権のお手伝いしているうちに、かるたタイムも仲良くなった。

試合が終わると、対戦相手と読手さんにありがとうごいましてとお礼を言う。お礼の気持ちには、私の中でどんどん広がっていく。

いつもかるたを教えてくださいたい先生方や大学生のお兄さんお姉さん、一緒に練習してくれる友達、ありがとう。練習や大会に送ってくれるお母さんお父さん、ありがとう。一緒にかるたを始めてくれたお姉ちゃん、ありがとう。

そして、私の小学校生活を充実させたものにしてくれた競技かるたに、ありがとう！ いよいよ練習して、もっと強くなれるように、かんばるね。 彩月

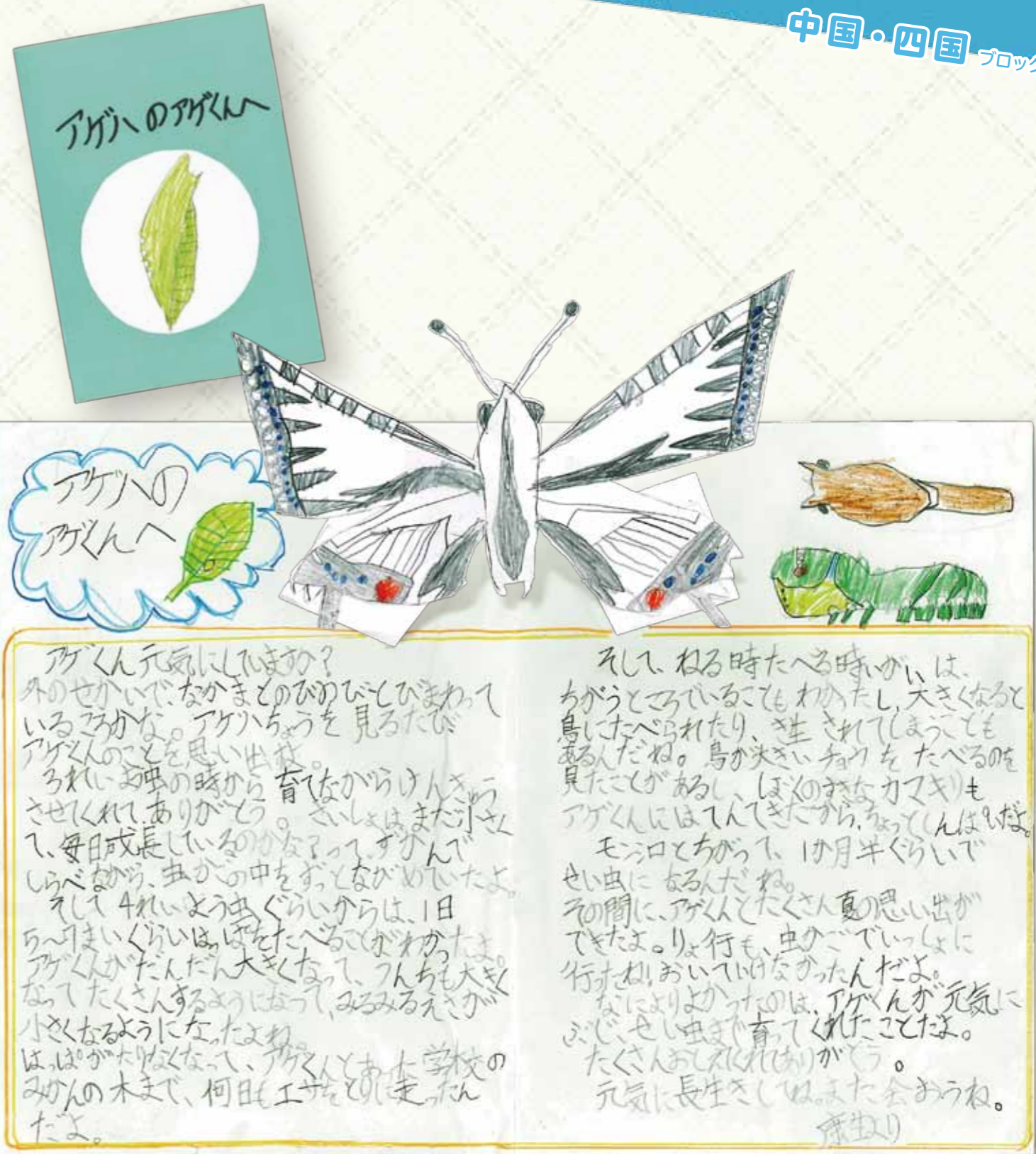
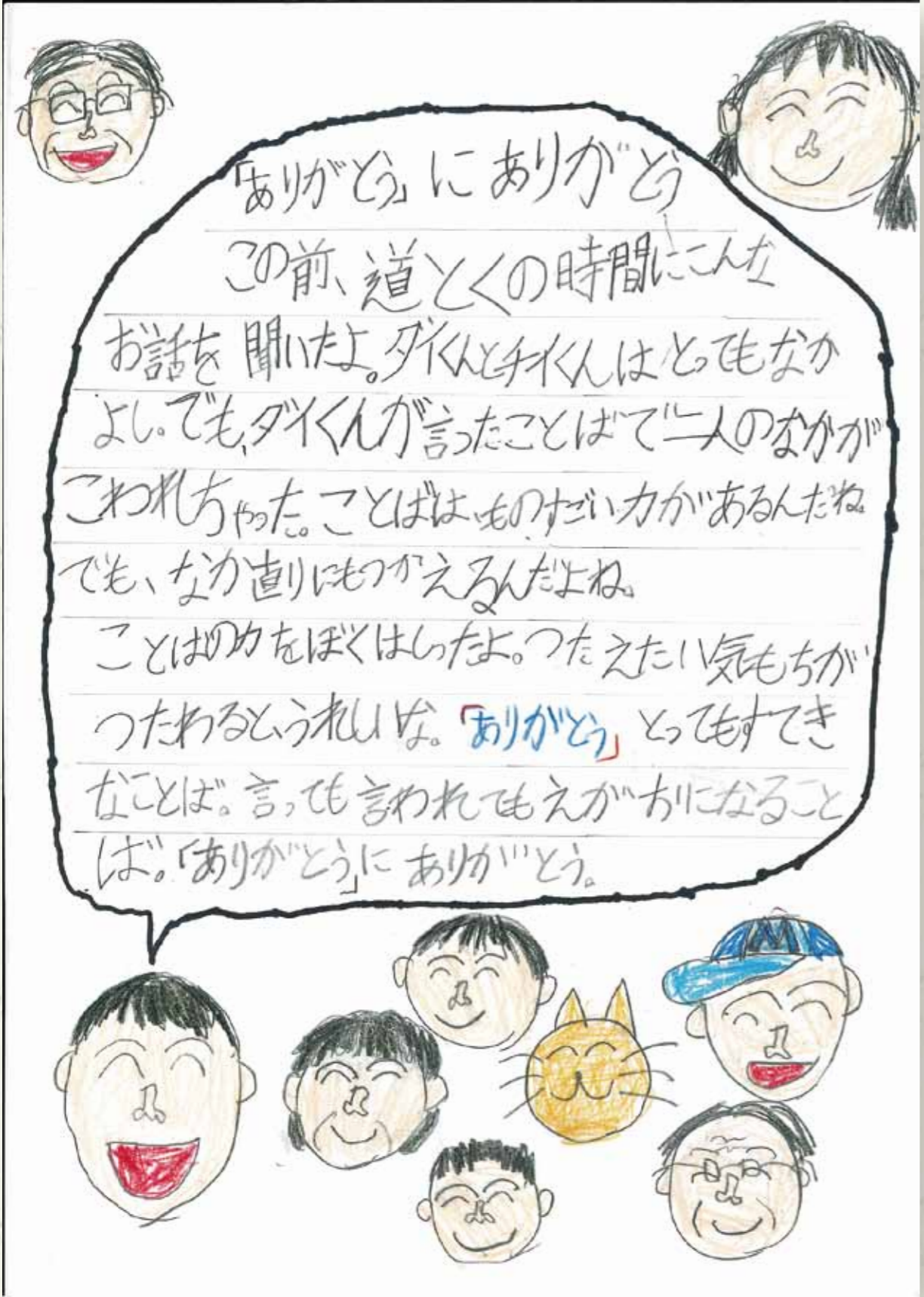


こじま さつき  
小嶋 彩月さん(6年)  
守山市立小津小学校

最優秀作品賞  
高学年の部

✿ 審査員から 競技かるたを通じ、一つのことに打ち込む大切さや感謝の気持ちなどを学び、成長している姿が思い浮かぶ。競技かるたで着る袴を描いた手紙が美しい。





おりもと りょうま  
**折本 諒真さん(2年)**  
 徳島文理小学校

**最優秀作品賞**  
 低学年の部

✿ 審査員から 「ありがとう」という言葉にありがとうを言いたいという気持ちがストレートに伝わる。「ありがとう。とってもすてきなことば」という表現が素直で愛らしい。

しもがわら こうせい  
**下河原 康生さん(3年)**  
 丸亀市立城西小学校

**最優秀作品賞**  
 中学年の部

✿ 審査員から 幼虫から成虫になるまでアゲハ蝶を大切に育てた様子がきめ細かく描かれている。手紙を開くとアゲハ蝶が飛び立つ仕掛けが施されているのも楽しい。

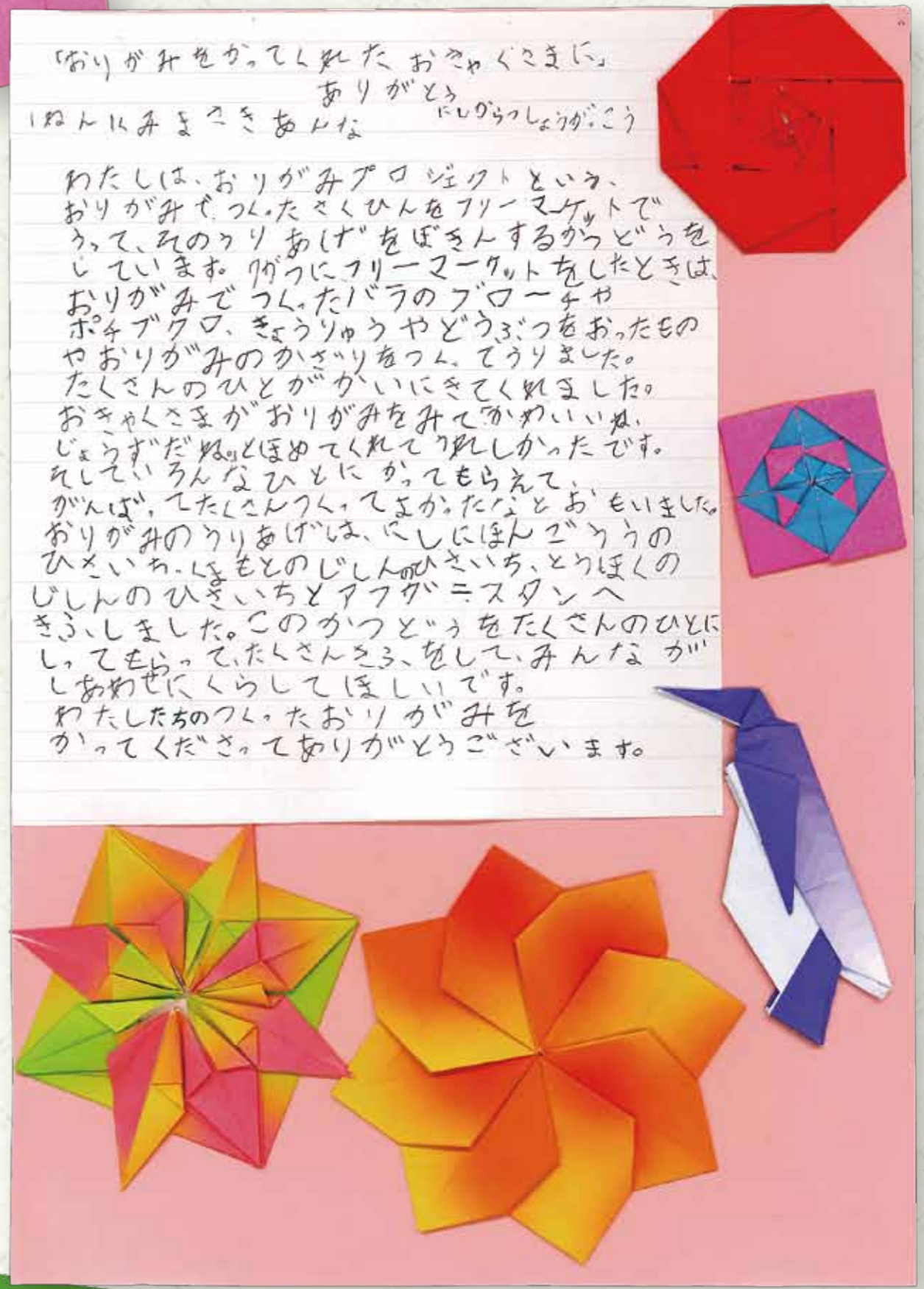




あらき たかなり  
**荒木 貴成さん(5年)**  
 東広島市立三津小学校

**最優秀作品賞**  
 高学年の部

✿ 審査員から  
 災害を通じ、改めて普段の暮らしや町の大切さを実感したことがリアルに  
 描写されている。復興のために自分ができることをしたいという思いが清々しい。



まさき あんな  
**正木 杏奈さん(1年)**  
 唐津市立西唐津小学校

**最優秀作品賞**  
 低学年の部

✿ 審査員から  
 折り紙でつくった作品を販売し、売上金を募金する活動を通して、買ってくれた方  
 への感謝、寄付を行う先にいる人々への思いまで、こまやかに表現されている。



# お母さんへ

ぼくは、お母さんのかみなりが、あまり好きではありません。でも、かみなりが落ちたあと、ぎゅうとだきしめてくれて、「これからは、きちんとできるよね。」と言われるときは、すぐほっとして、温かい気持ちになるから、大好きです。

ぼくが、スイミングスクールで選手コースに

感謝状  
あなたには、家庭の事も、自分の仕事も、すぐくがんばっていいので、ここに感謝状をおくりします。  
平成三十年育  
小田 孝太郎



なつてから、毎日 えいようのことを考えたごはんを、時間をかけて作ってくれて、本当にありがとうございます。おかげで、タイムものびてきました。東京オリンピックの次のオリンピックで、メダルがとれたら、一番にお母さんにメダルをかけてあげるからね。いつも、いそがしいのに、太陽のように明るいお母さんが、ぼくの自慢です。そんなお母さんに、感謝状を送ります。



おだ 孝太郎さん(3年)  
北九州市立足立小学校

## 最優秀作品賞

中学年の部

審査員から わが子の夢を応援する母の愛情と、そんな母への感謝の気持ちがダイレクトに伝わる。手紙を開くと母への感謝状が立ち上がるアイデアも秀逸。

# お父さんへ

今年の1月、お父さんから単身赴任するという話を聞いたとき、ぼくは単身赴任といふものがよく分からず、お父さんとはなれて暮らすという実感はわからなかった。それにお父さんがいなくなっても、なんとかやっていけるかなと思ってた。

正直言うと、あのころのぼくは、お父さんのことがあまり好きではなかった。ごめんね、きずついた？ 例えば、ぼくにと、てはどりでもいいと思うことでお母さん と言いかいをしたり、自分の意見や考えが絶対!と いうようにおし通したり、そんなところがいぜで、いらいらすることが多かった。

でも、はなれて暮らしてみても、お父さんはまぐ達家族のことが大好きで大切に想ってくれていたんだね。

水泳の大会のとき、はどんなに忙しくてもかけつけて、力いば、いい記録が出たときは、誰よりも喜んでくれる。それに、つかれて帰ってきたときは、ぼく達のビデオをみせてくれているんだよね。1人ぼちでビデオをみてるお父さんの姿を想像すると、少しせつなくなります。毎日4人で笑いながらご飯を食べていたころがなつかしいね。

でもこれからはぼくがお父さんのかわりになって、お母さんを支え、りょうすけのめんどうをみるよ。でもせはりときどきは、会いに来てほしいな。ぼく達は4人で1つの家族たもんね。



ありがとう

下戸 悠太郎

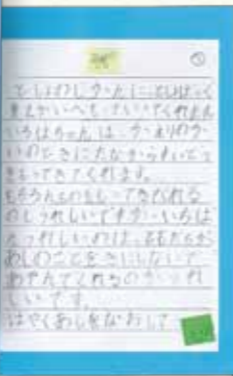
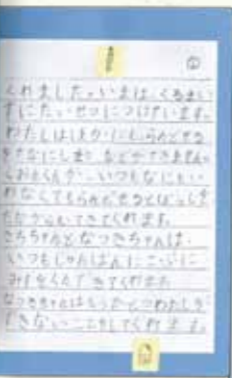
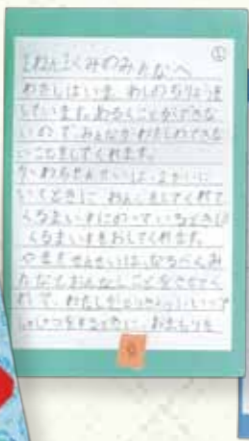
さげど 悠太郎さん(6年)  
湧水町立轟小学校

## 最優秀作品賞

高学年の部

審査員から 父の単身赴任をきっかけに、改めて父の愛情の深さを見つめ直し、成長していく様子がよく描かれている。ほがらかな表情の父のイラストも見事。

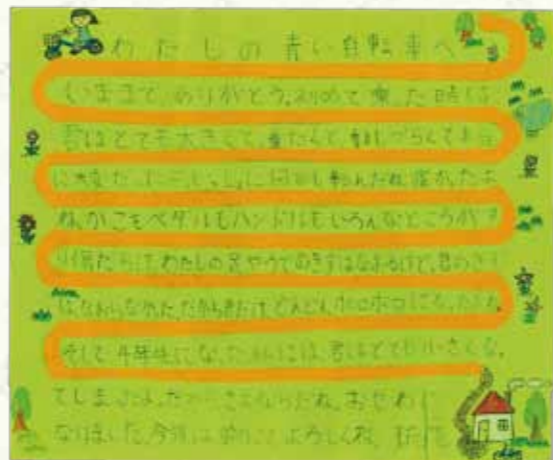




1



2



4



3



5

審査員特別賞

北海道  
東北  
ブロック

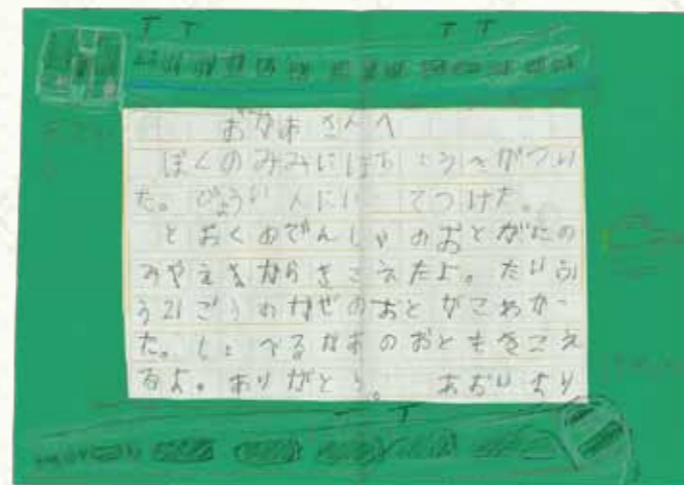
1 春日 いち乃さん (1年)  
新潟市立葛塚東小学校

2 七見 環さん (2年)  
白河市立みさか小学校

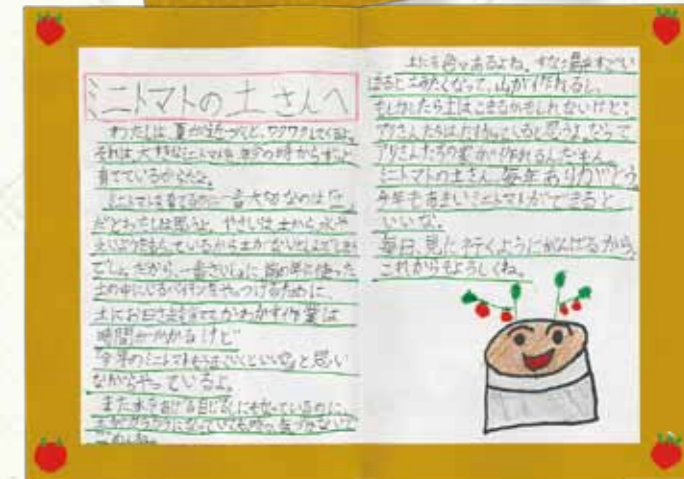
3 菅 侑亜さん (4年)  
仙台市立桜丘小学校

4 松本 琉花さん (4年)  
新潟市立亀田東小学校

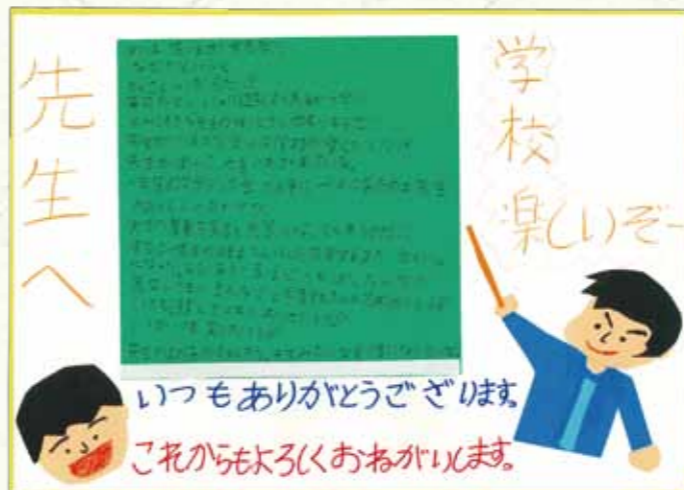
5 及川 雅明さん (6年)  
登米市立佐沼小学校



1



3



2



4



5

審査員特別賞

関東  
1  
ブロック

1 小野寺 葵海さん (1年)  
二宮町立二宮小学校

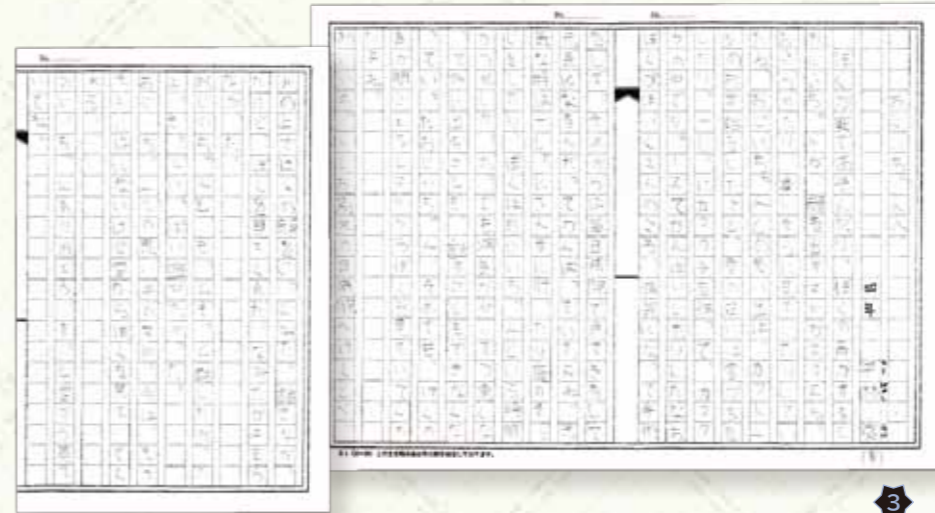
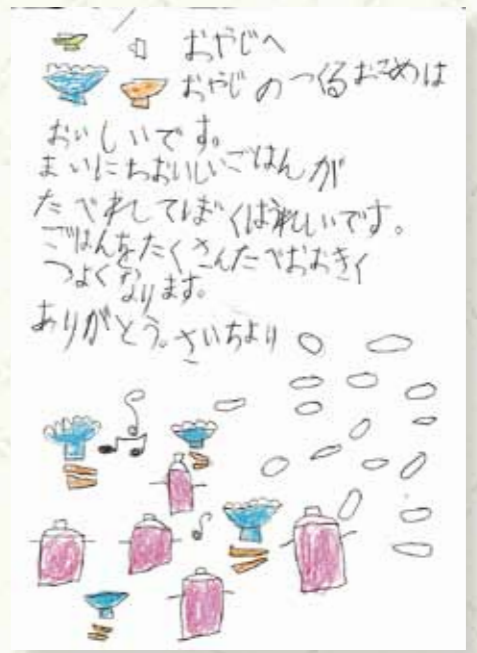
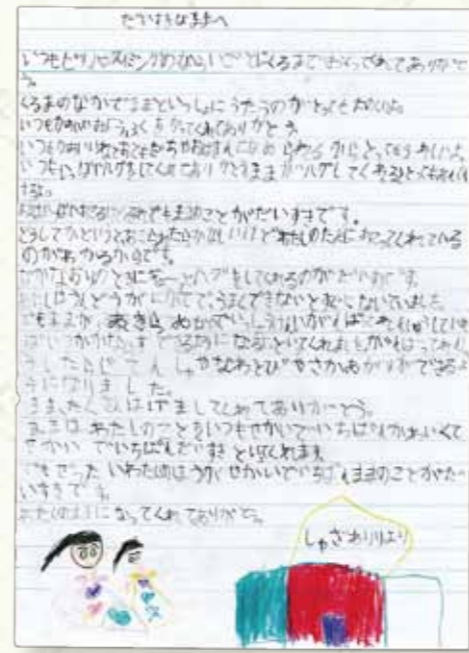
2 松島 文さん (4年)  
星美学園小学校

3 埴 美咲さん (3年)  
相模原市立大野小学校

4 河井 百合さん (5年)  
小田原市立久野小学校

5 森脇 千遥さん (5年)  
相模原市立大野小学校





関東  
2  
ブロック

審査員特別賞

- 1 網谷 思音さん(2年) さいたま市立浦和別所小学校
- 2 原田 梨央さん(3年) 江戸川学園取手小学校
- 3 磯部 愛美さん(4年) 土浦市立菅谷小学校
- 4 安西 亮翔さん(6年) さいたま市立宮原小学校
- 5 面村 遥香さん(6年) 船橋市立中野木小学校

中部  
東海  
ブロック

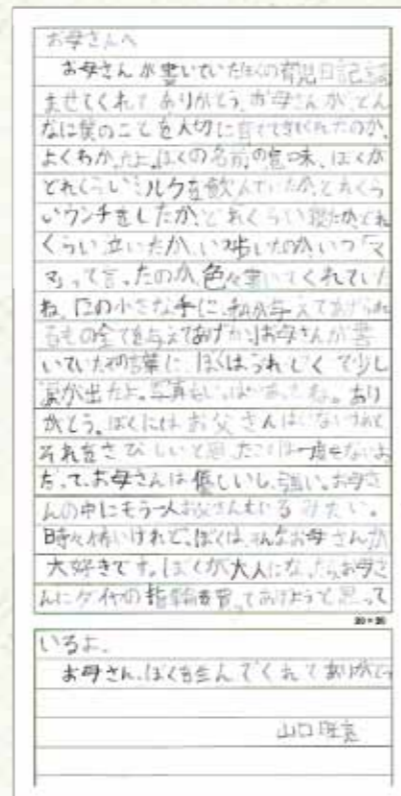
審査員特別賞

- 1 社澤 梨里さん(1年) 浜松市立有玉小学校
- 2 池田 偲一さん(1年) 津市立美杉小学校
- 3 平林 来さん(4年) 富士見町立富士見小学校
- 4 平岡 杏梨さん(4年) 静岡市立清水庵原小学校
- 5 水野 来実さん(6年) 一宮市立大志小学校









### 審査員特別賞

九州  
沖縄  
ブロック

- 1 木藤 杏さん (2年) 福岡市立千代小学校
- 2 山下 紀姫さん (1年) 鹿児島市立宮小学校
- 3 松井 愛侑さん (4年) 唐津市立大志小学校
- 4 下戸 良佑さん (4年) 湧水町立轟小学校
- 5 山口 旺亮さん (6年) 白石町立有明西小学校

岩手県 北上市立  
黒沢尻北小学校

北海道  
東北  
ブロック

校長先生のコメント

本校では、豊かな心や人間関係が深まる心の教育の充実をねらいとして、長年「三あ運動」の推進に取り組んでいます。「三あ」とは、「あいさつ」「あんぜん」「ありがとう」のことで、児童会の中心的活動として取り組まれている運動です。今年度も「ふわふわ言葉」や「ありがとうの木」に取り組み、相手を思いやる気持ちを学校内外に向けて発信しています。今回の学校・団体賞を励みに、これからも、感謝の心をもって笑顔とあいさつにあふれる学校にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

東京都 品川区立  
御殿山小学校

関東  
1  
ブロック

校長先生のコメント

本校では、毎朝輪番で子どもたちのあいさつ隊が、登校してくる子どもたちを元気な声で迎えます。自然にお互いのあいさつの輪が広がり、「相手を思いやる気持ちや感謝する気持ちを大切にしよう」といった心が育ちます。今回の受賞をますます励みにして元気で心豊かな学校にしていきたいと思っています。

## 学校・団体賞

応募していただいた全1,829校・団体から選ばれた7校・団体です。受賞した学校から校長先生のコメントをいただきました。

滋賀県 近江八幡市立  
金田小学校

関西  
ブロック

校長先生のコメント

人と豊かにつながるために、「ありがとう」の気持ちを手紙で伝える機会を大切にしたいと考えています。学校賞を励みに、これからも、書くことを通して思いを伝え合う学習に取り組んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

愛知県 碧南市立  
棚尾小学校

中部  
東海  
ブロック

校長先生のコメント

明るいあいさつが元氣いっぱい飛び交う本校。お互いに思いやり「ありがとう」の心が広がるように児童会が中心となり「ありがとうの手紙」への参加を呼びかけました。手紙には子どもたちのあたたかいパワーがあふれ、学校・団体賞までいただけたことに感激しています。今後も豊かな心をもつ「棚尾っ子」の育成をめざします。

熊本県 熊本市立  
泉ヶ丘小学校

九州  
沖縄  
ブロック

校長先生のコメント

学校・団体賞をいただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。泉ヶ丘小学校では、あいさつ運動を頑張っています。今年からさらに「ありがとう」の感謝の言葉も大切に、さまざまな取り組みをしています。その一つの成果としての受賞、本当にうれしく思います。今後も人と人を優しくつなぐ「ありがとう」の言葉を大切に、泉ヶ丘小学校全員で頑張っていきたいと思います。

広島県 広島市立  
大町小学校

中国  
四国  
ブロック

校長先生のコメント

子どもたちの「ありがとうの手紙」からは、身近な人に対しての「ありがとう」の気持ちが溢れています。子どもたちは、日頃は言えない、自分の周りを支えてくれている人に感謝するという機会を、この応募をきっかけに持つことができました。学校・団体賞受賞ありがとうございます。



# ファミリーマートは「ありがとうの手紙コンテスト」をはじめとして地域社会とともに次世代育成に取り組めます!



## ファミリーマート ありがとうの10th 手紙コンテスト

2009年にスタートした「ファミリーマート ありがとうの手紙コンテスト」は、これまでに延べ16,112校・団体から327,583通の「ありがとう」が全国から寄せられました。また、過去の受賞作品から5作品が2018年度に発行された2社の道徳の教科書に採用され、学校教育の現場でも活用されています。最優秀作品賞の表彰式は、受賞者が通う小学校で、児童のご家族や近隣店舗の店長、ファミリーマート社員も参加して開催され、学校とともに子ども達の活躍を称える場にもなっています。



## ベルマーク運動への参加

ファミリーマートは「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」というベルマーク活動の願いに賛同し、小売業として初めて、2008年4月より全国で発売している全体的におむすびにベルマークを付けて販売しています。さらに、店頭のお



むすび売場に回収BOXを設置し、ベルマーク回収も行っています。お客様からお寄せいただいたベルマークは、地域の子どものために店舗近隣の小学校へお届けしています。

## ベルマークによる被災地支援

店舗、本社、食品工場に寄せられたベルマークは、点数を集票した上で被災地の小学校へ寄贈しています。2018年12月には、大船渡市立大船渡北小学校、陸前高田市立米崎小学校、東松島市立矢本東小学校を訪問し、各小学校に約100,000点づつお渡ししました。



## こども店長 / 職場体験

普段は入ることのできないお店の中を探検したり、商品の陳列、レジ体験、接客など、子どもたちがファミリーマートの仕事を体験する「こども店長」を各店頭で実施しています。



## 出前授業 / 企業訪問

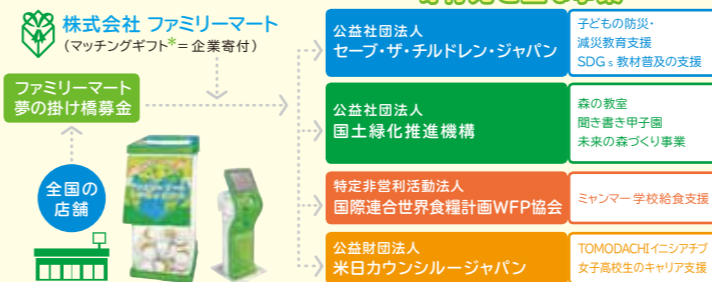
「出前授業」や「企業訪問」の受け入れを行っています。出前授業では、中学生や高校生に企業の活動をわかりやすく伝えるため、ファミリーマート社員を講師として派遣し、「社会インフラとしてのコンビニの役割」や「職業講話」などを行っています。また、企業訪問では、中学生や高校生が「商品」や「CSR」など、関心のあるテーマについて学ぶ機会を提供しています。



## ファミリーマート 夢の掛け橋募金

ファミリーマートでは、お客さまと、子どもたちと地球の未来のために活動を行っているNGO/NPOとの、協働で社会的な活動に取り組むため、1993年から「ファミリーマート夢の掛け橋募金」として募金活動を行っています。全店のレジ横に募金箱を設置し、店頭募金を受け付けています。お預かりした募金は、株式会社ファミリーマートからの企業寄付と合わせて、世界の子どもたちを含めた次世代育成支援と環境保全活動などの事業に役立てられています。

### 寄付先と主な事業



ファミリーマートの募金累計総額 **58億9,337万4,821円**  
(1993年～2018年8月末現在) 店頭募金・企業寄付・Famiポート募金、義援金などを含む。

\*マッチングギフト…募金額に対して、一定の比率を掛けた金額を上乗せして寄付しています。

## 国連WFP学校給食支援

国連WFPコーポレートプログラムのパートナーとして、2030年までに飢餓を解消させる支援活動を実施しています。2016年からは、ミャンマーの学校給食支援に指定寄付し、ミャンマー児童の栄養改善を行っています。



©WFP

## グローバル防災(災害リスク)教育

2013年に公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと「グローバルパートナーシッププログラム契約」を締結し、ファミリーマートが展開しているタイ・ベトナムで、同団体と協働で子どもの命を守る防災・減災事業に取り組んでいます。



## セーフティステーション

地域社会の安全・安心を提供する拠点として、子どもたちを見守るお手伝いをしています。